

令和6年度（一部、令和7年度分を含む）  
事務事業及び予算の執行実績

静岡県立浜松商業高等学校  
浜松市中央区文丘町4番11号  
電 話 053-471-3351  
F A X 053-475-2109

## 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	2 2
職員調	2 3
歳入予算執行状況調	2 7
現金出納調	2 9
歳入歳出外現金調	3 0
歳出予算執行状況調	3 1
委託料に関する調	3 4
負担金支出調	3 5
建築工事調	3 6
公有財産調	3 7
借地借家等調	3 8
行政財産貸付・使用許可調	3 9
備品・図書調	4 1
主要備品調	4 3

## 事務事業の概要

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

明治 32 年 4 月	乙種程度をもって浜松町立浜松商業学校として元城町齡松寺境内に開設
明治 34 年 4 月	組織を変更し甲・乙両種商業科を設置
明治 36 年 10 月	浜松市三組町の新校舎に移転
明治 44 年 9 月	浜松市立浜松商業学校と改称の件認可
大正 11 年 4 月	県立に移管され、静岡県立浜松商業学校と改称
昭和 4 年 4 月	静岡県立浜松第二商業学校を併設
昭和 10 年 12 月	文部省告示第 437 号により静岡県立浜松市三組町にある静岡県立浜松商業学校及び浜松第二商業学校の位置を昭和 11 年 9 月より浜松市名残町 499 番地（現在中央区文丘町 4 番 11 号）に変更の件認可
昭和 11 年 9 月	校舎新築に伴い静岡県立浜松商業学校及び静岡県立浜松第二商業学校を現在地に移転
昭和 19 年 3 月	教育に関する戦時非常措置令によって静岡県立浜松第二工業学校に転換 機械科、金属工業科、電気通信科を設置
昭和 21 年 3 月	県令第 35 号により静岡県立浜松第二工業学校を廃止 静岡県立浜松商業学校に復帰
昭和 22 年 4 月	県令第 239 号により新制中学校を併設
昭和 23 年 4 月	学制改革により静岡県立浜松商業高等学校と改称 商業科の全日制・定時制課程を設置する新制高等学校として発足
昭和 24 年 5 月	創立 50 周年記念式典挙行
昭和 25 年 4 月	募集定員 全日制 5 学級
昭和 26 年 4 月	募集定員 全日制 7 学級 定時制 3 学級
昭和 34 年 6 月	創立 60 周年記念式典挙行
昭和 43 年 4 月	全日制に貿易科設置（2 学級）
昭和 44 年 11 月	創立 70 周年記念式典挙行
昭和 45 年 5 月	プール（50m×18m） 竣工
昭和 46 年 4 月	全日制に経理科（5 学級）、事務管理科（2 学級）設置
昭和 48 年 3 月	情報処理実習棟 竣工
昭和 48 年 4 月	全日制 事務管理科を情報処理科に科名変更
昭和 49 年 10 月	運動部室 2 棟 竣工
昭和 51 年 6 月	生活館 竣工
昭和 53 年 4 月	定時制学級減（商業科 2）
昭和 54 年 10 月	創立 80 周年記念式典挙行
昭和 57 年 4 月	全日制学級減（経理科 4、情報処理科 2、貿易科 2 = 8 学級） 定時制学級減（商業科 1）
昭和 58 年 4 月	全日制学級増（経理科 5、情報処理科 2、貿易科 2 = 9 学級） 定時制学級増（商業科 2）

昭和 62 年 4 月 全日制に会計科設置（2 学級）  
 全日制学級増（経理科 4、会計科 2、情報処理科 2、貿易科 2 = 10 学級）

昭和 63 年 3 月 南校舎 竣工

平成 元年 6 月 創立 90 周年記念式典挙行

平成 2 年 4 月 全日制 貿易科を国際経済科に科名変更

平成 4 年 4 月 定時制学級減（商業科 1）

平成 6 年 4 月 全日制学科改編（経理科 3、会計科 2、情報処理科 2、国際経済科 3 = 10 学級）

平成 7 年 12 月 特別教室棟・体育館 竣工

平成 8 年 4 月 全日制学級減（経理科 2、会計科 2、情報処理科 2、国際経済科 3 = 9 学級）

平成 9 年 10 月 本館管理教室棟 竣工

平成 9 年 12 月 自転車置場 竣工

平成 10 年 4 月 全日制学科改編（経理科 3、情報処理科 3、国際経済科 3 = 9 学級）

平成 10 年 6 月 創立 100 周年記念式典挙行

平成 10 年 6 月 全天候運動場及び部室 竣工

平成 11 年 4 月 全日制学級増（経理科 4、情報処理科 3、国際経済科 3 = 10 学級）

平成 12 年 4 月 全日制学級減（経理科 3、情報処理科 3、国際経済科 3 = 9 学級）

平成 17 年 4 月 全日制学級減（経理科 3、情報処理科 3、国際経済科 2 = 8 学級）

平成 18 年 4 月 定時制課程商業科生徒募集停止

平成 19 年 4 月 全日制学級増（経理科 4、情報処理科 3、国際経済科 2 = 9 学級）

平成 20 年 4 月 全日制学級減（経理科 3、情報処理科 3、国際経済科 2 = 8 学級）

平成 21 年 3 月 定時制課程閉課

平成 21 年 6 月 創立 110 周年記念講演会挙行

平成 23 年 1 月 生活館耐震補強工事

平成 24 年 1 月 運動部室 1 棟 竣工

平成 25 年 3 月 災害時仮設トイレ 12 基 整備

平成 26 年 4 月 全日制学科改編及び学級増（商業科 7、情報処理科 2 = 9 学級）

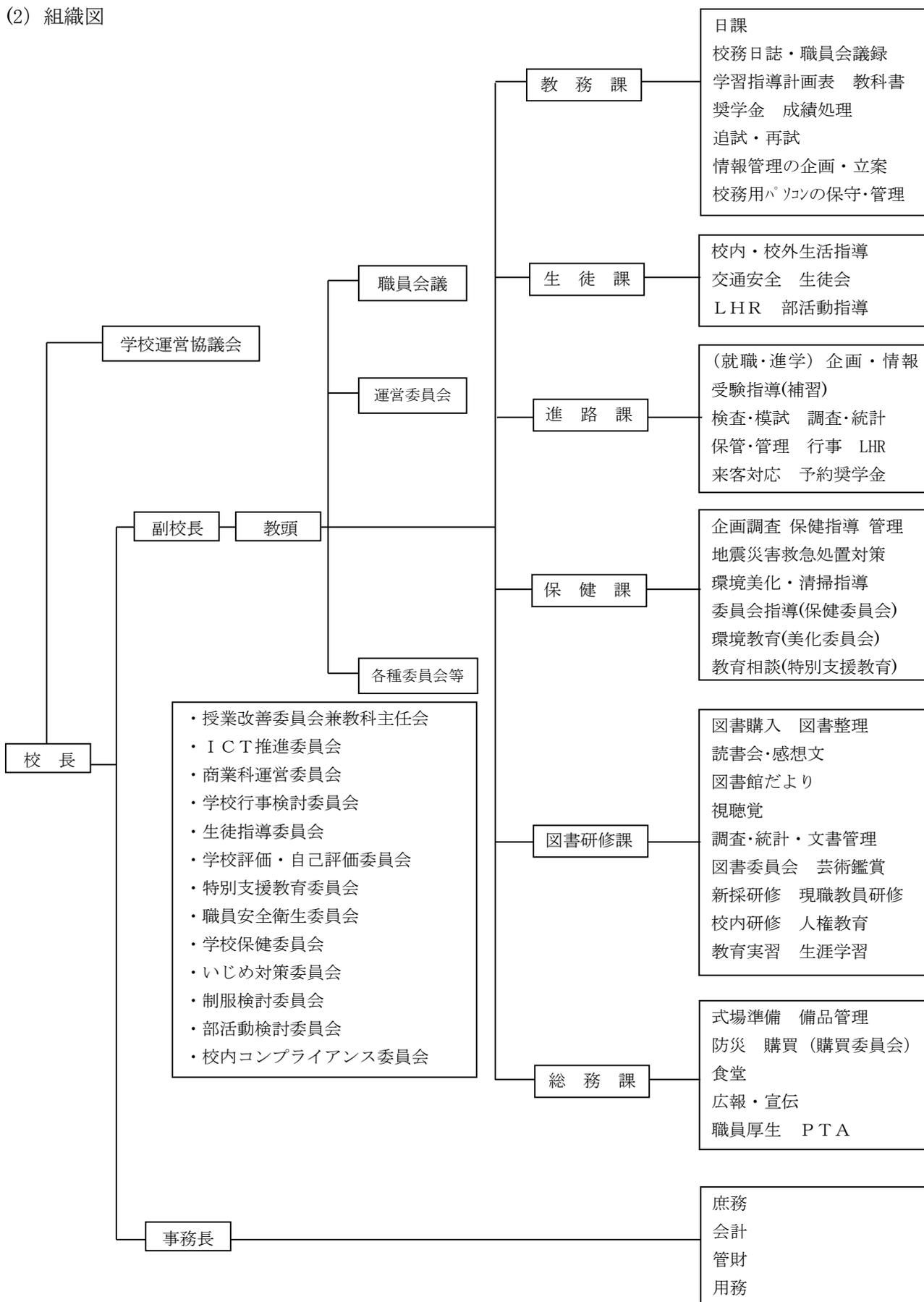
平成 27 年 3 月 管理教室棟他 4 棟外壁改修工事、洋弓場改修工事

平成 27 年 12 月 教職員住宅解体

平成 31 年 4 月 全日制学級減（商業科 6、情報処理科 2 = 8 学級）

令和 元年 5 月 創立 120 周年記念講演会挙行

(2) 組織図



2 目指す学校像

「誠実・勤勉・敬愛」の校訓のもと、県西部の商業教育の伝統校・包括的拠点校として、グローバルな企業・大学・行政等との連携を深め、商業4分野や特別活動・部活動等を軸に据えた課題解決型学習を通して、国内外で活躍したり、広く社会や地域に積極的に参画したりする、将来を担っていく人材の育成を目指す。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題（重点目標はゴシック体）

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ア	高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る。	・授業への満足度調査で「満足している」「適切な選択科目がある」と答える生徒 85%以上	・生徒の授業全体への満足度は89.3%、商業科目については84.3% ・「適切な選択科目がある」へのアンケート結果は「当てはまる」83.5%	B	・他教科に比べると商業科目についてやや低い結果でもあるので、更なる改善が求められる。
		・外部コンクールへの応募3つ以上と校内での成果発表ができた	代表的なものは、以下のとおりである。 ① フードグラフィ ② シブクリプロジェクト ③ 日経ストックリーグ ④ SDGs ⑤ 文書デザインコンテスト ⑥ 全国高等学校ビジネスアソシエーション甲子園		・外部コンクールは、教育的効果を上げている。 ・他にも企業等との連携を複数展開した。
		・日商簿記3級合格70%以上	・11月受検で約39.4%が合格(昨年同時期25%)。昨年度は最終的に60%強		・今年度は目標達成が目指せる数値と考える。 ・1級合格者1名は立派である。
		・情報処理技術者試験合格者10名以上	・ITパスポート試験合格者6名、基本情報技術者試験合格者9名		・目標が10名に対して15名の達成は、素晴らしい。
		・生徒が学習した知識に基づき自分の意見を適切にまとめて表現できる状態になる。	・74.5%の生徒が「概ねできる」と回答		・何のために学習するか、目的意識をもってほしい。

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ア	高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習上の課題を的確に把握し、改善案を提示 (結果検討会の開催)</li> <li>ONE WEEK の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1、2年生は年間3回実施し、試験結果到着後に結果検討会を2回実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後は、検討会での課題を踏まえ、ONE WEEK(事前課題)の効果的な活用方法や進路指導との連携を検討する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導への活用の検討</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度よりテスト結果を校内選考資料に取り入れ、3年間の成績や資格等と合わせて総合的な判断材料とする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>就職希望企業内定100%</li> <li>希望進学先合格100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月17日時点で98.8%→100%達成</li> <li>1月17日時点で96.3%→100%達成</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>未決定者2名(公務員1名・民間企業1名)</li> <li>未決定者5名(4年制大学3名、専門学校(看護)2名)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>handy を活用した生徒100%</li> <li>進路だより等発行10回以上(配信含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>handy を活用した生徒100%</li> <li>2学期までに計8回発行(配信含む)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期に1～2回発行予定</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で教員のICT活用100%</li> <li>一人一台端末を活用した授業を行った教員80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報管理担当教員による研修を複数回実施</li> <li>教員のICT活用94.1%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業をはじめ学年行事や学期ごとの振り返りにも活用している。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ニーズに合っていると答える生徒90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ニーズに合っていると答える生徒83.4%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科・科目において観点別評価の基準を定め、適切に実施できている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「先生方は、教材や教え方に様々な工夫をしている」と答える生徒80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートの該当項目において「工夫している・やや工夫している」が88.4%</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>目標は十分に達成している。</li> <li>次年度はより具体的な項目で工夫を評価するようアンケートを改善する。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
イ	活力ある学校行事や部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を身に着けた生徒を育成する。	・「有意義だった」「満足」と答える生徒 90%以上	・浜商祭全体 97.4% ・浜商祭商業展 98.4% ・修学旅行 98.9%	A	・どの行事も概ね目標を達成している。
		・「学校行事は楽しく有意義」と答える生徒 90%以上	・「あてはまる」生徒 91.9%		・行事の目的を踏まえてより充実した内容にしていく。
		・全国大会出場 10 部活以上 ・県大会出場 20 部活以上	・全国大会出場 12 部活動 ・県大会出場 24 部活動。	A	・より活動を充実させていく。
		・活動内容の見直し 80%以上	・見直しをした部活 88.2%		・来年度は全体に促し、すべての部活で見直しをする。
		・「部活動基本方針」の遵守 100%	・94.1%という結果であるが、ほとんどが遵守している。		・各部活動の活動計画を保護者にも確実に伝えていく。
		・「部活動やボランティア活動に積極的に取り組み、主体性や協働性が育成されている」 85%以上	・「あてはまる」生徒 85.4%	A	・Classroom で配信することで夏季休暇中のボランティア参加者が微増した。 ・生徒会部を中心にボランティア活動に参加している。
		・学年会年間 12 回以上開催 ・学年主任情報交換年間 10 回以上 ・学年集会各学期に 2 回以上実施 ・個別面談年間 3 回以上実施	・学年会議 9 回実施 (12 月末) ・学年集会 5 回実施 (12 月末) ・個別面談は学校全体で 4 月と 9 月に面接週間を実施し、夏休みに三者面談を実施		・学年会だけでなく他学年ともコミュニケーションを密にして情報交換に努めた。 ・学年主任情報交換は朝の挨拶と兼ねて昇降口にて実施。学年問わず生徒に声掛けができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ウ	計画的かつタイムリーな生活指導を通して、基本的生活習慣を確立し、規範意識や倫理観を持つ、自立した主権者としての資質を持った生徒を育成する。	・「主体的に挨拶ができる」生徒 90%以上	・「あてはまる」生徒 88.6%	C	・教職員も含めて主体的に挨拶していく。
		・SNSによる違法行為 0件 ・交通事故前年比 10%減 ・自転車交通違反切符を受けた自転車通学生徒 30%以内	・SNSによる不適切な行為 0件 ・交通事故は前年比 7.1%増加、重大事故は 0件 ・自転車交通違反切符前年比 153.6%増加 ・交通安全や交通マナーに適切な指導が行われている、に「あてはまる」生徒 87.8%		・自転車違反切符を複数回受けている生徒は、今後保護者にも伝えていく。 ・重大な交通事故は起きていないが、登校時に急いでいたことが原因のものが多く、余裕をもって登校することを指導していく。
		・「基本的生活習慣が身についている」生徒 85%以上	・「あてはまる」生徒 91.4%		・すばらしい結果であった。
		・「スマホ、インターネット、マナーの向上に対して適切な指導が行われている」生徒 80%以上	・「あてはまる」生徒 82.5%		・コミュニケーションを大切にしながら場をわきまえた行動ができる、人の心がわかる生徒の育成を目指す。
エ	安心安全な学校づくりを推進する	・避難訓練年 3回実施 ・避難経路を理解し 15分以内で避難点呼完了 ・地域防災参加率 70%以上	・避難訓練 3回実施。点呼完了 10分以内達成 ・地域防災参加率、生徒 40.3%、教員 84.8%	A	・役員のみでの参加等に近年切り替わっているという実情がある。
		・人権教育啓発活動の実施	・命の大切さや健康への理解が深まった生徒 88.6%	A	・チーム研修において、事例を用いた人権感覚の醸成を図った。
		・生徒課通信の発行年 5回以上	・生徒課通信年発行 5回達成。(配信含む)	A	・場をわきまえ、考えて行動するように促すことができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
エ	安心安全な学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCの活用(相談件数延べ50以上)</li> <li>・特別支援情報共有会年10回以上実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCは活用できた。(12月現在40件)</li> <li>・特別支援情報共有会は10回以上実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば、SCの回数を増やしてほしい。</li> <li>・個別の支援計画をもって入学した生徒の情報共有を定期的に行うことにより、安定した学校生活を送ることができている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談できる先生がいる」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体では67.3%(3年では73.4%)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が上がるにつれて数値は上がっている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の初期指導の実施</li> <li>・每学期人間関係づくりプログラムの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活が充実している生徒94.1%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めに人間関係作りプログラムを行うことにより、スムーズなクラス運営につながった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服検討委員会で検討し、今後どのようにするかの見通しが立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッション性も検討課題かもしれない</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服の見直しについては、今すぐ見直しという結論には至らなかった。今後、本当に必要なかを検討し、考えていく方向である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・每学期1回以上の安全点検</li> <li>・保健だよりの定期的発行</li> <li>・要受診者への積極的アプローチ</li> <li>・タイムリーな啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検は計画通り実施</li> <li>・保健だよりは12月現在8回発行</li> <li>・1月17日現在の要受診者の受診率(治療完了率)は全体で、耳鼻科86.7%、視力45.2%、歯科31.3%であった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要受診者の受診率が低すぎるので、100%の受診率を来年度以降目指していきたい。</li> <li>・健康の維持や向上は基本的なテーマなので、継続努力を期待したい。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
エ	安心安全な学校づくりを推進する	・四半期ごとの執行計画の立案と執行率 95%	・執行率は達成の見込み ・施設設備の安全確保について保護者アンケートでは 12.2%がわからないと回答	A	・物価の高騰等により予算的に厳しい状況が続いているが、執行計画に基づき適正に執行できている。 ・施設、設備の老朽化が目立ってきており安全性を第一に教育活動に支障がないよう対応していく。 ・施設の管理状況等について周知していく。
		・HP の更新 150 回以上 ・新聞掲載依頼 15 回以上 ・県 X 20 回以上 ・広報の新たな取り組みの実施	・HP 更新 155 回（1 月末現在） ・県 X 21 回（1 月末現在） ・新聞掲載は 15 回以上（12 月末現在）	A	・地道な HP 更新により情報を発信できている。 ・HP の更新が予定どおり実施できた。 ・来年度はパンフレットの更新を実施したい。
オ	企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める。	・「教育活動は評価できる」保護者 80%以上	・アンケート結果 91.7%	A	・満足できる結果であった。
		・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」保護者 85%以上	・アンケート結果 79.6%		・PTA 学年会を各学年 1 回 YouTube 配信で開催した。
		・「連絡や情報提供がきめ細かく行われている」保護者 80%以上	・アンケート結果 78.9%		・きずなネットを積極的に活用している
		・時間に余裕のある事前連絡案内の徹底	・PTA 総会、学年会の参加者（閲覧数）が増加した。		・遅くとも 1 か月以上前に保護者に連絡ができるよう準備を心掛けた。更に紙で配付せず、きずなメール配信で行うことで、保護者への連絡を徹底した。

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
オ	企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「浜商のことがわかった」来校者 90%以上</li> <li>・志願者の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日体験入学・オープンスクールを各1回実施し、来場者アンケート「浜商のことが理解できた」が 98.5%</li> <li>・中学校への出前授業は 25 回実施</li> <li>・近隣中学校には 2 回以上訪問実施</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね達成できた。</li> <li>・出前授業で商業科目に対する理解が深まった。</li> <li>・商業科職員で、一日体験入学やオープンスクールの自由相談コーナーを担当し、対話を通じて浜商へ興味を持つ生徒および保護者を醸成することができた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間・期限の厳守</li> <li>・会議資料のペーパーレス化及び確実な事前配付（提示）</li> <li>・マネジメントの徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かしら時間外勤務時間の縮減に取り組んでいる教職員 88.2%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員各自の勤務管理システムへの記録を徹底し、自身の働き方を把握し縮減に努めた。</li> <li>・職員会議をはじめ、会議のペーパーレス化が進んだ。</li> </ul>
カ	ICT 推進や改革を意識し、効率的な業務の遂行と教育環境の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事検討委員会の開催と改善案の提示</li> <li>・計画的整備の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化と合わせての継続検討</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事検討委員会を実施し、職員アンケートの結果を踏まえ、一部の行事について検討し、改善案を提案した。継続審議が必要なものについては、引き続き検討していく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動計画の提示の徹底（毎月・長期休業）</li> </ul>		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ化して管理した。共有しやすいが未提出部活もあった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な文書を誰もがすぐに取り出せる状態になる</li> </ul>		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NES上に共有DBを設置し様式等の共有化を行った。掲載データの見直し等を継続的に行い、効果的に運用できるよう図っていく。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
キ	生徒教職員ともに高い志と学び続ける姿勢を持ち、「人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」の浜商三訓を力強く実践する。	・「読書する習慣が身についている」生徒 60%以上	・読書習慣が身についた生徒 55.1%	B	・安定した読書習慣は定着しつつあるが、担任による指導の違いがみられ、徹底にはもう一歩の努力が必要である。
		・ミニ研修の実施 5 回以上 ・課題解決型グループ討議 2 回以上 ・研修会 1 回以上 ・教職員の授業参観 3 回以上 ・全教職員の外部研修参加 1 回以上	・人権（掲示）1 回、クラス経営（年次別研修）2 回、セミナー視聴（告知・参加）10 回の計 13 回の研修を行った。 ・授業参観 3 回以上 66.7% ・外部研修参加 74.5%	B	・全体研修を「効果的な ICT 活用による授業改善」というテーマで実施し、教員の各個人としての授業改善に関する研究は進んでいる。今後は、他の教員の授業参観による研鑽を充実させるため、次年度に「授業見学カード」を活用した働きかけを行う。

(2) 令和 7 年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	<b>高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究の充実（講座内容の見直しと発表会の充実）</li> <li>・科の学習内容の充実（商業科・情報処理科の特色に応じた取り組みの強化）</li> <li>・資格取得に向けた取組の徹底（基礎資格の確実な取得）</li> <li>・取得資格に基づくアウトプット力の醸成（思考力・判断力・表現力）</li> <li>・外部人材の積極的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への満足度調査で「満足している」「適切な選択科目がある」と答える生徒それぞれ 85%以上</li> <li>・外部コンクールへの積極的な応募（3 つ以上）と校内での成果発表会が実施できた</li> <li>・日商簿記 3 級合格 70%以上</li> <li>・情報処理技術者試験合格者 10 人以上</li> <li>・生徒が学習した知識に基づき自分の意見を適切にまとめて表現できる 80%以上</li> </ul>	商業科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎力診断テスト」を活用した教科指導方法の検証・改善</li> <li>・「スタディサプリ」を活用した学力の伸長とキャリア支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習上の課題を的確に把握し、改善案を提示（結果検討会の開催）</li> <li>・進路指導への活用ができた</li> </ul>	各教科 教務課 進路課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導室の相談体制の充実</li> <li>・進学補習の充実</li> <li>・ICTを活用した積極的な進路情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な進路選択ができたと感じた生徒 100%</li> <li>・ handy を活用した生徒 100%</li> <li>・進路だより等発行 10 回以上(配信含む)</li> </ul>	進路課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信授業に対応した校内の ICT 環境の整備</li> <li>・研修会の実施</li> <li>・活用事例の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で教員の ICT 活用 100%</li> <li>・一人一台端末を活用した授業を行った教員 80%以上</li> </ul>	教務課 図書研修課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程推進委員会による教育課程改善の推進</li> <li>・適切な観点別評価の実施</li> <li>・改正学校教育法施行規則にのっとった内規の改訂とシラバスの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学・就職それぞれにニーズに適した教育課程の改善ができた。</li> <li>・「先生方は、教材や教え方に様々な工夫をしている」と答える生徒 80%以上</li> <li>・学習ニーズに合っていると答える生徒 90%以上</li> </ul>	教務課
イ	活力ある学校行事や部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を身に着けた生徒を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の充実 修学旅行・スキー教室 その他の学校行事 生徒会活動 委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各特別活動において「有意義だった」「満足」と答える生徒 90%以上</li> <li>・「学校行事は楽しく有意義」と答える生徒 90%以上</li> </ul>	各学年 生徒課 教務課 各課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に即した部活動のあり方の改善と基本方針の改定</li> <li>・部活動と課外活動の充実を図るとともに、計画的で効率的な運営を行い、最大限の効果を上げる。</li> <li>・部活動を通して主体性や協働性の育成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活動基本方針」の遵守 100%</li> <li>・「部活動やボランティア活動に積極的に取り組み、主体性や協働性が育成されている」 85%以上</li> </ul>	部活動顧問 生徒課

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	計画的かつタイムリーな生活指導を通して、基本的な生活習慣を確立し、規範意識や倫理観を持つ、自立した主権者としての資質を持った生徒を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での共通認識の保持や情報共有の徹底</li> <li>・共通認識と共通実践の徹底</li> <li>・生徒に向き合い働きかける機会の確保</li> <li>・課題の早期発見・アプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会年間 12 回以上開催</li> <li>・学年主任情報交換年間 10 回以上</li> <li>・学年集会各学期に 2 回以上実施</li> <li>・個別面談年間 3 回以上実施</li> </ul>	各学年管理職
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって挨拶できる生徒の育成（HR 風紀委員 授業）</li> <li>・情報モラル講座、交通安全講話の実施</li> <li>・交通委員による継続的な街頭指導の実施</li> <li>・交通違反者に対する講習会の実施</li> <li>・教員による昼休みの巡視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的に挨拶ができる」生徒 90%以上</li> <li>・SNS による不適切な行為 0 件</li> <li>・生徒の交通事故前年比 10%減（重大事故 0 件）</li> <li>・自転車交通違反切符交付数の着実な減少</li> <li>・「基本的生活習慣が身についている」生徒 85%以上</li> <li>・「スマホ、インターネット、マナーの向上に対して適切な指導が行われている」生徒 80%以上</li> </ul>	生徒課
エ	安心安全な学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の充実</li> <li>・防災マニュアルの必要に応じた見直しと職員への周知徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練年 3 回実施</li> <li>・避難経路を理解し 15 分以内で避難点呼完了</li> <li>・参加対象者の地域防災参加率 70%以上</li> </ul>	総務課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育啓発活動の実施</li> <li>・命の大切さや健康への理解を深める</li> <li>・「いじめ・こころの健康調査」「自己を語る」等の実施</li> <li>・上記の HR 面談での活用促進</li> <li>・実施結果分析の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の大切さや健康への理解が深まった生徒 80%以上</li> <li>・生徒課通信の発行年 5 回以上</li> <li>・生徒アンケート結果を面談に活用した担任 100%</li> </ul>	図書研修課 生徒課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとの早期発見と情報共有の徹底</li> <li>・SC の活用</li> <li>・特別支援情報共有会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとを抱えた生徒を SC へつなげることができた</li> <li>・特別支援情報共有会年 10 回以上実施</li> <li>・「相談できる先生がいる」全学年 80%以上</li> </ul>	保健課 各学年

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	安心安全な学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志を育む啓発指導</li> <li>・構成的グループエンカウンターなどを活用した人間関係作り</li> <li>・各学年の初期指導の実施</li> <li>・每学期人間関係作りプログラムの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活が充実している生徒 90%以上</li> </ul>	各学年 保健課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性を意識した制服の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会で検討し、具体的な方針を定める</li> </ul>	生徒課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険個所等の把握と改善</li> <li>・教育環境の整備・充実</li> <li>・健康に関する指導</li> <li>・感染症リスクを下げる指導</li> <li>・タイムリーな啓発</li> <li>・学年・保護者と連携した要受診者への積極的アプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・每学期1回以上の安全点検ができた</li> <li>・保健だよりの発行年10回以上（配信含む）</li> <li>・歯科受診率70%以上</li> </ul>	保健課 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営目標に沿った計画的予算の執行</li> <li>・教育環境の整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期ごとの執行計画の立案と執行率95%</li> </ul>	事務部
オ	企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の充実</li> <li>HPの充実と学校パンフレットの刷新</li> <li>新聞掲載による広報</li> <li>その他(X、Instagram等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの更新150回以上</li> <li>・新聞掲載依頼15回以上</li> <li>・県X20回以上</li> <li>・パンフレットが刷新された</li> </ul>	総務課 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会・オープンスクールの充実(内容参加の呼びかけ)</li> <li>・PTA学年会の配信による実施</li> <li>・きずなネットの活用(1家庭1アカウント以上の登録の徹底)</li> <li>・アプリによる欠席連絡の徹底</li> <li>添付による文書配布の推奨</li> <li>・式典のスムーズな運営</li> <li>・PTAや同窓会との連携</li> <li>・奨学金業務の遂行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育活動は評価できる」保護者80%以上</li> <li>・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」と感じる保護者85%以上</li> <li>・「連絡や情報提供がきめ細かく行われている」と感じる保護者80%以上</li> <li>・時間に余裕のある事前連絡や案内が徹底された</li> <li>・PTA総会、学年会の参加者(閲覧数)が増加した</li> </ul>	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
オ	企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日体験入学・オープンスクール内容の充実</li> <li>・中学校への積極的な広報活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「浜商のことが分かった」来校者 90%以上</li> <li>・中学校への出前授業 20 回以上</li> <li>・管理職・運営委員・学年部等による近隣中学校訪問 2 回以上</li> <li>・定員の充足</li> </ul>	教務課 商業科 各学年 運営委員 管理職
カ	ICT 推進や改革を意識し、効率的な業務の遂行と教育環境の整備を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出退勤時間の適正化</li> <li>・会議資料の削減</li> <li>・会議時間の短縮化</li> <li>・校務の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議資料のペーパーレス化及び確実な事前配付（提示）ができた</li> <li>・時間外勤務時間の縮減に取り組んだ教職員 80%以上</li> </ul>	管理職 運営委員 全職員
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の精選</li> <li>・諸表簿・教材教具等の計画的配置と整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事検討委員会の開催による改善案の提示及び行事の精選が実行できた</li> </ul>	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な部活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動計画の提示が徹底できた（毎月・長期休業）</li> </ul>	生徒課 部活動顧問
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務処理の効率化と統一化</li> <li>・NES の文書共有の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な文書を誰もがすぐに取り出せる状態になっていた</li> </ul>	事務部
キ	生徒教職員ともに高い志と学び続ける姿勢を持ち、「人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」の浜商三訓を力強く実践する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の充実</li> <li>・読書指導の充実</li> <li>・朝読書指導の徹底</li> <li>・アウトプットの機会を作る</li> <li>・研修の充実</li> <li>・授業参観・授業参観週間・オープンスクールの充実</li> <li>・研修案内により職員の外部研修参加の促進（Zoom 含）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書する習慣が身につけている」生徒 60%以上</li> <li>・ミニ研修の実施 5 回以上</li> <li>・課題解決型グループ討議 2 回以上</li> <li>・研修会 1 回以上</li> <li>・教職員の授業参観 3 回以上</li> <li>・全教職員の外部研修参加 1 回以上</li> </ul>	図書研修課

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>ア 外部人材（企業等）の積極的活用による課題研究授業の更なる充実</p>	<p>3年生課題研究「観光マーケティング」では、浜松市役所職員（1回）、JTB社員（4回）を招き、講義及び生徒の研究内容に助言を受けた。同「マーケティング戦略」ではJAとびあ浜松の職員（4回）、ジュビロ磐田の職員（1回）を招き、講義及び生徒の研究内容に対して助言を受けた。また、「情報研究」では、三方原馬鈴薯選果場に行き、PR動画を作成した。同「マネジメント戦略」では5～6月に3回、計9事業所に生徒が訪問し、各企業の事業内容について理解を深めた。さらに夏休み期間には10事業所で7日～20日間のインターンシップを経験した。</p> <p>授業(教科書)で学んだ内容と実際の企業活動を結び付けて考える貴重な経験となっている。「情報技術研究」では、大原簿記専門学校の職員（5回）を招き、基本情報技術者試験について学びを深めた。</p>
	<p>イ ICTの活用推進と生徒一人一台端末の活用</p>	<p>Google クラウドルームを活用して情報の配信と収集が十分に行われている。(配信の例・・・県や自治体、大学等で実施される講演会の案内、ボランティアの募集、企業等が企画する探究プログラムの募集等)</p> <p>多くの生徒が自発的に応募し、活動の場を広げて多様な経験をすることにつながった。</p>
	<p>ウ マーケティング・マネジメント分野資格取得の推進</p>	<p>本校は令和4年度からスタートした教育課程において、商業4分野（会計、情報、マーケティング、マネジメント）の学習の充実を図った。それにより、従来からの日商簿記検定、情報技術者試験に加えて、マーケティング・マネジメント分野については「日商リテールマーケティング（販売士）検定を目指すことを推奨し、指導体制を整えた。</p>
	<p>エ 高大連携事業</p>	<p>令和6年度より、観光分野で静岡産業大学と連携して観光プランについての講義（1回）を行った後に、静岡産業大学に訪問し、浜松駅周辺の観光プランを立てた。大学の先生だけでなく、大学生からもアドバイスを受け、観光プランの精度を高めた。その後実際にフィールドワークに出向き、プランの考察を行った。翌日には、株式会社ベルトラの社員を招き、観光プランの発表を行った。大学の先生、旅行業者の視点から講評をいただいた。この経験をもとに、浜松の魅力や文化について深く理解するとともに、地元の観光資源の魅力について広く発信することを目標に取り組んでいる。</p>

年度	取組概要	成果及び課題
令和7年度	ア 外部人材（企業等）の積極的活用による課題研究授業の更なる充実	<p>3年生課題研究「観光マーケティング」では、浜松市役所職員（1回）、JTB社員（4回）を招き、講義及び生徒の研究内容に助言を受けた。同「マネジメント戦略」では5～6月に3回、計9事業所に生徒が訪問し、各企業の事業内容について理解を深めた。さらに夏休み期間には10事業所で7日～20日間のインターンシップを経験した。同「人材マネジメント」では、企業からの説明を聞き、企業のリソースを使ったもののアイデアとして企業に提案した。企業の訪問（3回）。</p> <p>授業(教科書)で学んだ内容と実際の企業活動を結び付けて考える貴重な経験となっている。「情報技術研究」では、大原簿記専門学校の職員（6回）を招き、基本情報技術者試験について学びを深めた。</p>
	イ ICTの活用推進と生徒一人一台端末の活用	<p>Google クラウドルームを活用して情報の配信と収集が十分に行われている。(配信の例・・・県や自治体、大学等で実施される講演会の案内、ボランティアの募集、企業等が企画する探究プログラムの募集等)。今年度、海外インターンシップ（台湾）に2年生1名参加、県主催スタートアップキャンプに3名参加。</p> <p>多くの生徒が自発的に応募し、活動の場を広げて多様な経験をすることにつながった。</p>
	ウ マーケティング・マネジメント分野資格取得の推進	<p>本校は令和4年度からスタートした教育課程において、商業4分野（会計、情報、マーケティング、マネジメント）の学習の充実を図った。それにより、従来からの日商簿記検定、情報技術者試験に加えて、マーケティング・マネジメント分野については「日商リテールマーケティング（販売士）検定を目指すことを推奨し、指導体制を整えた。</p>
	エ 高大連携事業	<p>令和6年度より、観光分野で静岡産業大学と連携して観光プランについての講義（1回）を行った後に、静岡産業大学に訪問し、浜松駅周辺の観光プランを立てた。大学の先生だけでなく、大学生からもアドバイスを受け、観光プランの精度を高めた。フィールドワークを通してプランを見直したものを、株式会社ベルトラの社員を招き、観光プランの発表を行った。大学の先生、旅行業者の視点から講評をいただいた。課研「情報活用研究」にて、静岡大学の情報分析講座において、アンケートの取り方や分析の仕方を学び、11月にポスターセッションにて発表するために取り組んでいる。この経験をもとに、浜松の魅力や文化について深く理解するとともに、地元の観光資源の魅力について広く発信することを目標に取り組んでいる。</p>

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

職名 区分	本務職員											任・臨、会計年度任用職員							合 計					
	教育職員						行政職員					本務計	教諭 (任・臨)	実習助手 (臨)	主事 (臨)	非常勤講師	部活動指導員	非常勤嘱託員		非常勤労務職員	臨時計			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主任査	主任任	主任事											技能員	小計	
転出者			1	4			5		1				1	6										6
退職者				4			4							4	3		2						5	9
再任用 (退職)				1	1		2							2										2
転入者			1	9			10			1			1	11										11
新任者				1			1							1	2		2						4	5
再任用 (新任)				1			1							1										1
差引増減			0	2	△1		1		△1	1			0	1	△1		0						△1	0

(2) 現員数

(令和7年8月31日現在) (単位：人)

職名 区分	本務職員											任・臨、会計年度任用職員								合 計				
	教育職員						行政職員					本務計	教諭 (臨)	実習助手 (任)	主事 (臨)	外国語指導講師	非常勤講師	部活動指導員	非常勤労務職員		校医等	臨時計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主任査	主任任	主任事												技能員	小計
計	1	1	1	54	2	3	62	1	1	1	2	1	6	68	4	1	1	1	6	1	2	5	21	89

(3) 健康管理について

【令和6年度】

法で定められている健康診断は、全員受診した。診断の結果、再検査や精密検査が必要になった職員には、早期に受診するよう促した。

また、職場の健康づくりとして「自力生体」を実施した。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザについては生徒も含め感染する者が少数ながら常に存在する状況がある。

令和6年度は学年閉鎖・学級閉鎖もなく、感染症を最小限に抑えることができた。感染症予防のため、保健だよりや掲示物での感染症対策の啓発、手指消毒液の設置継続、体調不良時には休養するよう常時指導した。

また、熱中症予防対策として、熱中症指数を表示する掲示板の校内複数個所へ設置しての周知や、各部活動に熱中症指数測定器を配布し、予防に活用するよう指導した。

【令和7年度】

10月14日現在の健康診断実施状況は、実施済みは68人で、10月14日以降に健康診断を受診する者は7人となっている。引き続き、早期に全員受診と再検査と精密検査の受診するよう呼び掛ける。

感染症対策として、少数ながら通年で感染者が発生する新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染症予防として、手指消毒液の設置継続、体調不良時には休養することや咳エチケットの励行などを実施する。

近年発生回数が増加傾向にある猛暑日の熱中症対策として、引き続き熱中症指数を表示する掲示板を校内複数個所に設置し、数値を周知して運動制限の判断に活用すると共に、運動部活動には配布されている熱中症指数測定器を活用して、熱中症予防の対策を徹底するよう指導した。

その他、職場の健康づくり講座では、セラピードッグとの触れ合いや交流を通して、リラックス効果やストレス軽減、心の安定を促すとともに、職員同士の交流や活性化、職場の雰囲気づくりにつなげるため「ドッグセラピー体験会」を10月15日に実施した。

(4) 教職員の研修について

【令和6年度】

研修の目的	研修内容及び成果	課題
(ア) 一人一台端末の活用推進	定期訪問の際の校内研修において、一人一台端末の効果的な活用方法を、センターの指導主事から講話頂いた。授業での活用のみならず、業務の効果的な軽減につながる内容となった。	授業での活用のみならず、教員の多忙解消につながる使い方を模索したい。
(イ) 一人一台端末を活用した授業改善	全学年で一人一台端末が揃う今年度、様々な授業において端末を活用した授業の実施について、校内での授業参観を通じ、各自の授業に生かせるよう活用方法について、情報共有を行った。	端末を有効活用できるように、効果的な活用方法を共有できるようにしたい。
(ウ) 人権教育を通して、命の尊さ等について理解を深める。	校内でのグループ研修や、人権週間を設け、生徒への人権意識の浸透、教員間の人権意識について研修し、意見共有を行った。	人権意識を生徒・教員ともに継続して持つことが大切であり、その仕組みを考えたい。
(エ) 観点別評価や生徒による授業評価アンケートの結果を授業改善に生かす	学期ごとの観点別評価の結果や、授業アンケートを振り返り、自身の授業改善に努めた。アンケートは年度内で2回実施し、授業評価の変化からも改善につなげたい。	授業改善に生かせる有効な評価アンケートや振り返り方法を検討したい。

【令和7年度】

研修の目的	研修内容及び成果	課 題
(ア) 発達支持的な生徒指導の充実	事後的な生徒指導だけでなく、すべての生徒を対象にした、自主的・主体的な成長、発達を支える指導として、今どんな指導をしていて、これからどんな指導ができるか考えた。	すべての生徒を対象に、あらゆる場面で効果的な声掛けや関わりを考え、取り組めるようにしたい。
(イ) 一人一台端末を活用した授業改善	調べ学習やプレゼンテーションなど以前より有効な一人一台端末の活用が見られるようになった。教員同士の授業参観にもつながった。	継続して一人一台端末の授業内での活用可能性について情報を共有していきたい。
(ウ) 人権教育を通して、命の尊さ等について理解を深める。	人権週間を設け、人権意識を高めるような取り組みを行った。また、各教員が生徒に向けて人権意識の浸透を図るような場面を設定した。	常に生徒・教員共に人権を意識して生活ができるよう、校内での人権目標など工夫していきたい。
(エ) 観点別評価や生徒による授業評価アンケートの結果を授業改善に生かす	昨年度の教科ごとのアンケート結果や、今年度の学期ごとの観点別評価の結果や、授業アンケートを振り返り、授業改善に努めた。アンケートは年度内で2回実施し、昨年度の評価からの変化、年度内の1回目と2回目の授業評価の変化にも着目して授業改善につなげたい。	前年度からいる教員は年度内だけでなく、昨年度の結果との比較や授業改善した点なども記録しておきたい。

6 防災対策について

【令和6年度】

指導目標	取組内容及び成果	課 題
防災教育の充実 (生徒の防災意識の高揚)	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月1日、火災や地震等の緊急事態を想定し、安全かつ迅速な避難の訓練を行った。地震防災緊急地区別連絡網を円滑に活用できるようにするため、地区別に待機教室へ移動し、地震防災緊急地区別名簿を確認し、生徒の班長・副班長を決定した。さらに災害時緊急引き渡し調査アンケートを保護者と相談の上、回答させた(自力で帰る41.9%、保護者が迎えに来る58.1%)。</li> <li>9月2日、地震避難訓練(南海トラフ地震臨時情報避難訓練)を実施した。令和6年度は、熱中症予防対策により、体育館へ全校生徒を集めることが困難であったため、各教室でchromeブックを活用し、体育館・グラウンドへの避難経路を確認(タッチペンを活用)した。さらに防災に関する動画を視聴し、9月1日が防災の日となった経緯や南海トラフ地震に関する話をし、生徒の防災意識を高めた。</li> <li>12月初旬、地域防災訓練への参加の呼びかけを行う。</li> <li>12月19日、火災を想定し、グラウンドへの避難経路を確認し、迅速に避難する訓練を実施した。</li> </ul>	<p>令和6年度は、大規模地震に対する対応(巨大地震注意情報)について校内で確認することができた。</p> <p>近年、日本各地で大規模地震が発生していることを考え、生徒対象の避難訓練のみならず、教職員・地域の方々(小中学校、自治会)との連携を図る必要がある。地域連携協議会へ参加し、具体的な内容について確認する。</p>

【令和7年度】

指導目標	取組内容及び成果	課題
<p>防災教育の充実 (生徒の防災意識の高揚)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月1日、火災や地震等の緊急事態を想定し、安全かつ迅速な避難の訓練を行った。地震防災緊急地区別連絡網を円滑に活用できるようにするため、地区別に待機教室へ移動し、地震防災緊急地区別名簿を確認後、生徒の班長・副班長を決定した。さらに災害時緊急引き渡し調査アンケートを保護者と相談の上、回答させた。結果は以下のとおり(自力で帰る62.9%、保護者が迎えに来る37.1%)。</li> <li>・ 9月1日、地震避難訓練(南海トラフ地震臨時情報避難訓練)を実施した。令和7年度は、熱中症予防対策により、体育館への避難訓練は実施せず、各教室でGoogleミーティングを活用した。最初に、体育館・グラウンドへの避難経路を確認した後、南海トラフ地震をはじめとする巨大地震に関する動画を視聴し、生徒の防災意識を高めた。</li> <li>・ 12月初旬、地域防災訓練への参加の呼びかけを行う予定。</li> <li>・ 12月18日、火災や火山噴火等を想定し、グラウンドへの避難経路を確認後、避難する訓練を実施予定。</li> </ul>	<p>令和7年度も、昨年度と同様に大規模地震に対する対応(巨大地震注意情報)について校内で確認できた。</p> <p>近年、能登半島の地震など日本各地で大規模地震が発生していることを考え、生徒対象の避難訓練のみならず、教職員・地域の方々(小中学校、自治会)との連携は必須である。また、9月には地域連携協議会へ参加し、具体的な内容についても確認することができた。</p>

7 学校開放について

【令和6年度、令和7年度】

本校は、部活動が盛んで体育館等は常時使用されているため、施設開放は行っていない。

ただし、地域貢献の一環として、柔道、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、剣道の運動各部において、本校を会場に近隣の小学生や中学を対象に合同練習会等を行っている。

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第56条、第57条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令 いじめ防止対策推進法（第13条、第15条、第16条、第18条）
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第44条、第45条、第46条、第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県教育委員会処務規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第1条、第3条） 高等学校等就学支援金事務処理要領 静岡県公立高等学校等就学支援金事務処理要領 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要領 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 静岡県補助金等交付規則 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する要綱

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	井口 裕史		□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
2	副校長	袴田 康行		□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
3	教頭	米本 敦	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
4	事務長	後藤 一弘		□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
5	教諭	深澤 吉和	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
6	教諭	太田 貴望	音楽	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
7	教諭	梅原 孝博	理科	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
8	教諭	佐々木 智彦	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
9	教諭	加藤 文人	理科	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
10	教諭	宮島 陽子	外国語(英語)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
11	教諭	鈴木 正悟	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
12	教諭	寺田 玲子	外国語(英語)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
13	教諭	鈴木 純	理科	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
14	教諭	大杉 圭	数学	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
15	教諭	村木 淳一	数学	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
16	教諭	亀尾 信太郎	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
17	教諭	寺田 久美子	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
18	教諭	土本 雅紀	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
19	教諭	村松 美佳	家庭	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
20	教諭	戸塚 和也	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
21	教諭	鈴木 淳矢	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
22	教諭	澤木 秀文	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
23	教諭	杉山 由利子	外国語(英語)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
24	教諭	高津 良典	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
25	教諭	後藤 新平	外国語(英語)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
26	教諭	高橋 優子	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
27	教諭	松山 浩樹	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
28	教諭	渥美 久二子	家庭	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
29	教諭	大場 章吾	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
30	教諭	浅野 将志	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
31	教諭	平野 隆久	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
32	教諭	木下 幹比呂	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
33	教諭	久保田 愛		□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
34	教諭	齋藤 茉莉子	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
35	教諭	本間 光一	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
36	教諭	岩下 大祐	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
37	教諭	小澤 拓也	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
38	教諭	野末 昌利	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
39	教諭	山梨 以織	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
40	教諭	近藤 敬介	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
41	教諭	石川 恵梨	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
42	教諭	鈴木 結花	数学	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
43	教諭	風間 淳機	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
44	教諭	杉本 貴保	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
45	教諭	寺田 匡太郎	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
46	教諭	村田 雅哉	理科	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
47	教諭	中村 美砂子	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
48	教諭	栗本 誉	数学	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
49	教諭	内山 恵理	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
50	教諭	平 龍彦	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
51	教諭	村松 孝則	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
52	教諭	高塚 諒	外国語(英語)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
53	教諭	川嶋 初実	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
54	教諭	井口 紗弥香	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
55	教諭	小河 梓	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
56	教諭	佐藤 翼	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
57	教諭	石田 菜純	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
58	教諭	渡井 樹	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
59	養護教諭	藤田 鮎美	養護	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
60	養護教諭	鈴木 絢子	養護	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
61	実習助手	松下 小織	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
62	実習助手	塚本 洋子	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
63	実習助手	大内 果南	理科	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
64	主査	伊藤 文久	管財	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
65	主任	木下 由加里	庶務	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
66	主事	岡田 有加	会計	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
67	主事	野島 孝太	庶務	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
68	技能長	垣内 幸久	用務	□□□	□年□月	
平均年数					3年5月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	実習助手	川口 由夏	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
2	教諭	政本 直己	外国語(英語)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
3	教諭	後藤 祐子	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
4	教諭	兼次 萌風	外国語(英語)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
5	教諭	宮崎 貞夫		□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
6	主事	渡邊 久美子	庶務	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
7	外国語 指導講師	Ruth Berkowitz	外国語(英語)	□□□	□年□月	
8	会計年度任用職員 (非常勤講師)	河 早代子	音楽	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
9	会計年度任用職員 (非常勤講師)	若杉 嘉宏	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
10	会計年度任用職員 (非常勤講師)	大谷 治男	商業(商業科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
11	会計年度任用職員 (非常勤講師)	江川 和宏	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
12	会計年度任用職員 (非常勤講師)	袴田 江見子	国語	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
13	会計年度任用職員 (非常勤講師)	加藤 好孝	商業(情報処理科)	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
14	会計年度任用職員 (部活動指導員)	若杉 嘉宏	女子ソフトテニス 部	□□□	□年□月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
15	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	兼子 滋弘	用務	□□□	□年□月	
16	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	服部 守弘	用務	□□□	□年□月	
17	健康管理医・ 学校医	中野 泰克	内科	□□□	□年□月	
18	学校医	畠山 眞行	眼科	□□□	□年□月	
19	学校医	向高 洋幸	耳鼻科	□□□	□年□月	
20	学校歯科医	近藤 晴彦	歯科	□□□	□年□月	
21	薬剤師	森園 直美	薬剤師	□□□	□年□月	

## 歳入予算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	114,538,330	114,142,330	396,000
項 01使用料	112,630,430	112,234,430	396,000
目 09教育使用料	112,630,430	112,234,430	396,000
02全日制高等学校授業料	112,533,300	112,137,300	396,000
08庁舎等使用料	97,130	97,130	0
項 02手数料	1,907,900	1,907,900	0
目 07教育手数料	1,907,900	1,907,900	0
01高等学校入学料	1,864,500	1,864,500	0
02証明書発行手数料	32,400	32,400	0
04高等学校全日制入学検 定料	11,000	11,000	0
款 10財産収入	2,000,000	2,000,000	0
項 01財産運用収入	2,000,000	2,000,000	0
目 01財産貸付収入	2,000,000	2,000,000	0
02土地貸付料	2,000,000	2,000,000	0
款 14諸収入	1,367,475	1,360,547	6,928
項 07雑入	1,367,475	1,360,547	6,928
目 02雑入	1,367,475	1,360,547	6,928
87保険料負担金	855,756	855,756	0
保険料負担金	392,277	392,277	0
非常勤職員	463,479	463,479	0
90雑収	511,719	504,791	6,928
計	117,905,805	117,502,877	402,928

# 執 行 状 況 調

(令和 6年度)  
(令和 7年 5月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			計	収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計			
円	円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	0	100.0	99.6
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	0	100.0	98.6
0	0	0	0	0	100.0	99.6

ZIB0090  
ZIRB0090

様式第7号

## 現金出納調

浜松商業高等学校

(令和6年度)

(令和7年5月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,896,900	円 1,896,900	円 1,896,900	円 0	円 1,896,900 413 枚	円 1,896,900 72 枚
計	0	1,896,900	1,896,900	1,896,900	0	1,896,900 413 枚	1,896,900 72 枚

様式第7号

## 現金出納調

浜松商業高等学校

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,901,800	円 1,901,800	円 1,901,800	円 0	円 1,901,800 374 枚	円 1,901,800 37 枚
計	0	1,901,800	1,901,800	1,901,800	0	1,901,800 374 枚	1,901,800 37 枚

様式第8号

## 歳入歳出外現金調

県立高校中学校 浜松商業高校

(令和6年度)  
(令和7年3月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 427,273	円 427,273	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	33,795	33,795	0	
所得税	13,045	257,627	248,193	22,479	
県市町村民税	0	114,600	102,500	12,100	
保証金	520,000	0	320,000	200,000	
計	533,045	833,295	1,131,761	234,579	

様式第8号

## 歳入歳出外現金調

県立高校中学校 浜松商業高校

(令和7年度)  
(令和7年8月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 205,235	円 205,235	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	13,540	13,540	0	
所得税	22,479	178,703	167,017	34,165	
県市町村民税	12,100	193,700	203,000	2,800	
保証金	200,000	0	0	200,000	
計	234,579	591,178	588,792	236,965	

## 歳出予算執行状況調

(令和6年度)  
(令和7年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	163,930,734	163,930,734	0	
項 02 教育委員会費	7,574,835	7,574,835	0	
目 02 教育総務費	14,364	14,364	0	
01 報酬	14,364	14,364	0	
03 非常勤職員報酬	14,364	14,364	0	
目 03 教育管理費	7,440,471	7,440,471	0	
08 旅費	36,135	36,135	0	
02 普通旅費	36,135	36,135	0	
10 需用費	1,979,026	1,979,026	0	
01 その他の需用費	1,979,026	1,979,026	0	
11 役務費	693,000	693,000	0	
12 委託料	4,424,310	4,424,310	0	
14 工事請負費	308,000	308,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	145,776,582	145,776,582	0	
目 01 高等学校総務費	15,426,719	15,426,719	0	
01 報酬	7,332,287	7,332,287	0	
03 非常勤職員報酬	7,332,287	7,332,287	0	
03 職員手当等	1,582,166	1,582,166	0	
01 その他の職員手当等	1,582,166	1,582,166	0	
04 共済費	5,832,575	5,832,575	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	5,832,575	5,832,575	0	
08 旅費	679,691	679,691	0	
01 その他の旅費	190,814	190,814	0	
02 普通旅費	488,877	488,877	0	
目 02 高等学校管理費	130,349,863	130,349,863	0	

県立高校中学校 浜松商業高校

ZIB0030  
ZIRB0030

(令和6年度)  
(令和7年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 報酬	1,163,144	1,163,144	0	
03 非常勤職員報酬	1,163,144	1,163,144	0	
04 共済費	177	177	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	177	177	0	
07 報償費	130,080	130,080	0	
01 その他の報償費	130,080	130,080	0	
08 旅費	5,999,968	5,999,968	0	
01 その他の旅費	45,299	45,299	0	
02 普通旅費	5,954,669	5,954,669	0	
09 交際費	5,000	5,000	0	
10 需用費	14,342,091	14,342,091	0	
01 その他の需用費	14,336,091	14,336,091	0	
02 食糧費	6,000	6,000	0	
11 役務費	1,390,033	1,390,033	0	
12 委託料	6,955,702	6,955,702	0	
13 使用料及び賃借料	269,780	269,780	0	
17 備品購入費	543,213	543,213	0	
18 負担金、補助及び交付金	89,685,300	89,685,300	0	
19 扶助費	9,865,375	9,865,375	0	
項 07 特別支援学校費	2,548,586	2,548,586	0	
目 02 特別支援学校管理費	2,548,586	2,548,586	0	
12 委託料	2,548,586	2,548,586	0	
項 08 学校教育費	8,030,731	8,030,731	0	
目 01 高校教育費	5,557,840	5,557,840	0	
01 報酬	3,800,000	3,800,000	0	
03 非常勤職員報酬	3,800,000	3,800,000	0	
04 共済費	779,064	779,064	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	779,064	779,064	0	

(令和6年度)  
(令和7年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
07 報償費	487,000	487,000	0	
01 その他の報償費	487,000	487,000	0	
08 旅費	271,393	271,393	0	
01 その他の旅費	215,881	215,881	0	
02 普通旅費	55,512	55,512	0	
10 需用費	220,383	220,383	0	
01 その他の需用費	220,383	220,383	0	
目 04 健康体育費	2,472,891	2,472,891	0	
01 報酬	728,000	728,000	0	
03 非常勤職員報酬	728,000	728,000	0	
04 共済費	1,939	1,939	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,939	1,939	0	
07 報償費	799,200	799,200	0	
01 その他の報償費	799,200	799,200	0	
08 旅費	418,997	418,997	0	
01 その他の旅費	418,997	418,997	0	
11 役務費	524,755	524,755	0	
計	163,930,734	163,930,734	0	

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) エレベーター保守点検業務	三菱電機ビルソリューションズ(株)中部支社静岡支店	円 990,000	円 990,000	円	円 990,000	随契	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.10.31 R7.4.23 小計	円 483,450 506,550 990,000	エレベーター保守点検業務	随契1号(少額)
2	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	㈱環吉	運搬料 1回13,200 処分料 1回96,800	運搬料 1回11,000 処分料 1回86,240		運搬料 1回11,000 処分料 1回86,240	随契	R6.4.12 ～ R7.3.31	R7.4.10	97,240	産業廃棄物(コンテナ)収集運搬及び処分業務	単価契約 随契1号(少額)
3	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	12,949,860	12,650,000	▲ 60,927	12,589,073	一般	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.10.10 R7.4.10 小計	9,482,872 3,106,201 12,589,073	消防用設備等保守点検業務	浜松西高、浜松南高、浜松湖南高、浜松江之島高、浜松城北工業高、新居高、湖西高、浜松聴覚特支、浜松特支(城北分校含む)、浜名特支
4	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	㈱太洋サービス	99,000	99,000		99,000	随契	R6.12.12 ～ R7.2.28	R7.2.21	99,000	産業廃棄物(理科実験廃薬品)収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
5	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	㈱太洋サービス	98,340	98,340		98,340	随契	R7.1.30 ～ R7.3.28	R7.4.4	98,340	産業廃棄物(理科実験廃薬品)収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
6	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	㈱ホクセイ	45,045	45,045		45,045	随契	R7.2.12 ～ R7.3.28	R7.3.27	45,045	産業廃棄物(蛍光管・水銀灯)収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
7	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	㈱環吉	9,900	9,900		9,900	随契	R7.3.6 ～ R7.3.28	R7.4.10	9,900	産業廃棄物(摩タイヤ)収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
	事務関係 計	7件								13,928,598		
	合計	7件								13,928,598		
参考1	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		2,786,520	390,940	3,177,460		R6.4.1 ～ R7.3.31			浜松湖東高校外10校自家用電気工作物保安管理業務	浜松湖東高校
参考2	可燃物収集運搬処分業務	環境保全(株)		運搬料 1回 715 処分料 1kg 13.2		運搬料 1回 715 処分料 1kg 13.2		R6.4.8 ～ R7.3.31			浜松大平台高校外14校可燃物収集運搬処分業務	浜松大平台高校
参考3	ブルー浄化装置保守点検業務	清化工業(株)		998,800	▲ 17,050	981,750		R6.4.8 ～ R6.12.27			浜松東高校外25校ブルー浄化装置保守点検業務	浜松東高校
参考4	建築物環境衛生管理業務	㈱シービーエム		7,773,260		7,773,260		R6.4.1 ～ R7.3.31			浜松西高校外6校建築物環境衛生管理業務	浜松西高校
参考5	警備業務	総合警備保障(株)静岡支社		6,705,600		6,705,600		R1.10.1 ～ R 6.9.30			浜松北高校外7校警備業務	浜松北高校
参考6	警備業務	総合警備保障(株)静岡支社		8,448,000		8,448,000		R6.10.1 ～ R11.9.30			浜松北高校外7校警備業務	浜松北高校
参考7	建築基準法第12条定期点検業務	(有)いま総合設計		3,784,000		3,784,000		R6.8.2 ～ R7.2.28			浜松南・湖西地区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務	浜松南高校
	計	7件										

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国商業高等学校長協会第152回春季総会・研究協議会	全国商業高等学校長協会	開催通知	全国商業高等学校長協会春季総会・研究協議会参加	円 5,500	R6.4.22
2	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加	4,000	R6.5.14
3	第63回全国高等学校教頭・副校長会総会・研究協議大会	全国高等学校教頭・副校長会	開催通知	全国高等学校教頭・副校長会総会・研究協議大会参加	4,000	R6.7.10
4	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	2,000	R6.7.12
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅰ期分768人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	22,809,600	振替日 R6.7.31
6	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会	全国商業高等学校長協会	開催通知	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会参加	5,500	R6.8.9
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分750人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	37,075,500	振替日 R6.10.31
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分2人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	99,000	振替日 R6.11.1
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	振替日 R6.12.13
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅲ期分750人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,670,300	振替日 R7.1.31
計		10件			89,685,300	

建築工事調

(令和6年度)

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額			受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
					当初額	変更増減額	計						
1	教育管理費	令和6年度静岡県立浜松商業高等学校グランド第2ポンプ室水量水器更新工事	浜松市中央区文丘町地内	円 308,000	円 0	円 308,000	日管(株)	R7.1.17 R7.3.4	円 308,000	グランド散水用水量水器更新φ65	—	令達年月日 R6.12.26 支払年月日 R7.3.26 随契1号(少額)	
		合計	1件	308,000	0	308,000			308,000				
参考	教育管理費	令和6年度浜松商業高等学校夜間照明設備改修工事	浜松市中央区文丘町地内	円 49,962,000	円 99,000	円 47,949,000	松川電気(株)	R6.7.17 R7.3.7	円 47,949,000	グランド夜間照明改修6基	済	本庁経理 設備課 随契8号(不調)	
		合計	1件	49,962,000	99,000	47,949,000			47,949,000				

# 公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 3,476,520	/	千円 45,642	/	千円 100,991	/	千円 3,421,171	
土 地	42,484.69㎡	1,685,129					42,484.69㎡	1,685,129	
立木竹	41本	4,079					41本	4,079	
建 物	$\frac{7,616.70\text{㎡}}{18,615.86\text{㎡}}$	1,765,432				96,248	$\frac{7,616.70\text{㎡}}{18,615.86\text{㎡}}$	1,669,184	
工作物	35件	21,880	1件	45,642		4,743	36件	62,779	
特許権等	1件	0					1件	0	
公有財産に準ずるもの	/	251	/		/		/	251	
電 話加入権	7件	251					7件	251	

## 借地借家等調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用途
				台帳	現況		単価	年 額			
1	工作物	防球 ネット	浜松市 中央区 文丘町 499-11			13.78㎡	円 0	円 0	R6.4.1 ～ R11.3.31	浜松商業 高等学校 PTA会長	防球 ネット
2	土 地	水路 敷地	浜松市 中央区 文丘町 499-11	学校 用地	用悪 水路	26.16㎡	0	0	R4.4.1 ～ R9.3.31	浜松市長	通行路 3ヶ所 (占用 許可)
3	工作物	冷暖房 装置	浜松市 中央区 文丘町 499-11			1 個		6,874,254	R3.7.1 ～ R16.6.30	三井住友 ファイナ ンス& リース株 式会社	普通教室 空調
4	工作物	冷暖房 装置	浜松市 中央区 文丘町 499-11			1 個		4,209,313	R6.7.1 ～ R19.6.30	NTT・TC リース株 式会社静 岡支店	特別教室 空調
計								11,083,567			

## 行政財産貸付・使用許可調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用 許可期間	貸付又は使用 許可を受けた者の氏 名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	用悪水路	㎡ 342.00	—	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	浜松市長	排水路
2	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	本 17	1,500	25,500	円 R5.4.1 ～ R10.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜松営業所長	電柱7 支線柱1 支線9
3	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	㎡ 27.37	—	免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松商業高等学校同窓会長	定時制記念碑等
4	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	公衆用道路	㎡ 109.55	—	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	浜松市長	道路敷
5	建物	事務所建	浜松市中央区文丘町4番11号	鉄骨鉄筋コンクリート造	管理教室棟	㎡ 1.00	—	免除	R6.4.1 ～ R9.3.31	(一社)浜松商業高等学校後援会長	食券自動販売機
6	建物	事務所建	浜松市中央区文丘町4番11号	鉄骨鉄筋コンクリート造	管理教室棟	㎡ 57.80	—	免除	R6.4.1 ～ R9.3.31	(一社)浜松商業高等学校後援会長	厨房施設
7	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	公衆用道路	㎡ 109.63	—	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	浜松市長	道路敷
8	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	本 2	1,500	3,000	円 R3.4.1 ～ R8.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電話柱1 支線柱1
9	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	㎡ 1.22	—	免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松商業高等学校PTA会長	カーブミラー
10	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	㎡ 4.86	—	免除	R5.4.1 ～ R10.3.31	浜松市長	雨水浸透施設
11	建物	事務所建	浜松市中央区文丘町4番11号	鉄筋コンクリート造	南校舎	㎡ 3.30	—	免除	R5.4.1 ～ R8.3.31	浜松商業高等学校PTA会長	PTA職員執務場所

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は面 積	貸付料又は使用料		貸付又は使用 許可期間	貸付又は使 用許可を受 けた者の氏 名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
12	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 10.44	—	免除	R5.4.1 ～ R8.3.31	浜松商業高等学校PTA会長	PTA職員駐車場
13	建物	事務所建	浜松市中央区文丘町4番11号	鉄骨鉄筋コンクリート造	管理教室棟	m <sup>2</sup> 5.40	—	免除	R6.4.1 ～ R9.3.31	浜松商業高等学校PTA会長	パン等販売
14	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 0.24	—	免除	R5.4.1 ～ R10.3.31	浜松市長	カーブミラー
15	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 10.44	—	免除	R6.4.1 ～ R9.3.31	(一社)浜松商業高等学校後援会長	後援会職員駐車場
16	建物	事務所建	浜松市中央区文丘町4番11号	鉄骨鉄筋コンクリート造	管理教室棟	m <sup>2</sup> 3.30	—	免除	R6.4.1 ～ R9.3.31	(一社)浜松商業高等学校後援会長	後援会職員執務場所
17	建物	事務所建	浜松市中央区文丘町4番11号	鉄骨鉄筋コンクリート造	管理教室棟	m <sup>2</sup> 33.00	—	免除	R7.4.1 ～ R10.3.31	(一社)浜松商業高等学校後援会長	購買施設
18	土地	学校敷地	浜松市中央区文丘町4番11号	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 6.00	—	円 2,000,000	R6.4.1 ～ R9.3.31	サントリービバレッジソリューション(株)	飲料用自動販売機
19	土地	学校敷地	浜松市中央区富塚町919番の44	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 5.60	—	免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松商業高等学校同窓会長	記念碑
20	土地	学校敷地	浜松市中央区富塚町919番の44	学校敷地	学校敷地	本 1	1,500	円 1,500	R5.4.1 ～ R10.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜松営業所長	支線柱1
合 計								円 2,030,000			

## 備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220930 県立高校・中学校 浜松商業高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	39	( 0) 0	0	( 0) 0	0	39
01-02 台類	50	( 0) 0	0	( 0) 0	0	50
01-03 いす類	5	( 0) 0	0	( 0) 0	0	5
01-04 収納保管庫類	58	( 0) 1	311,300	( 0) 0	0	59
01-05 印刷機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
01-07 書類整理器具類	5	( 0) 0	0	( 0) 0	0	5
01-08 計算器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-10 印判類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-11 照明器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	31	( 0) 0	0	( 0) 0	0	31
01-14 冷暖房器具類	5	( 0) 0	0	( 0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	14	( 0) 0	0	( 0) 1	0	13
02-01 情報処理機器類	396	( 0) 1	0	( 0) 0	0	397
02-02 情報伝達機器類	7	( 0) 0	0	( 0) 0	0	7
02-03 再生機器類	2	( 0) 2	231,913	( 0) 0	0	4
03-01 撮影機器類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
03-02 観察・観測用光学機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	20	( 0) 0	0	( 0) 1	0	19
03-04 媒体関連機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1

ZMB0040  
ZMR0040

## 備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220930 県立高校・中学校 浜松商業高等学校

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
04-01 診療・診断用機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
04-02 衛生検査用機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
04-03 看護用機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
05-01 強度（物性）試験計測機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-02 波動・熱試験計測機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
05-04 分析化学機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	9	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	9
06-04 電気電子機器類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	5
06-99 その他の諸機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-06 家庭科用器具類	16	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	16
10-07 音楽用器具類	21	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	21
10-08 芸術用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	33	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	33
10-99 その他の教育用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
12-01 雑機器	12	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	12
50-01 図書	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
計	765	( 0 ) 4	543, 213	( 0 ) 2	0	767

ZMB0040  
ZMR0040

## 主 要 備 品 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	02-02	その他の情報伝達機器	LL装置 ソニー LLC-9000	週16時間(年間175日) 授業(英語表現・コミュニケーション英語Ⅰ)	平成9年12月	14,364,000 円
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	課題研究実習装置2 富士通 ESPRIMO D7010/F ほか	週22時間(年間175日) 授業(ソフトウェア活用・情報処理・プログラミング・課題研究)	令和4年2月	10,703,000
3	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) 情報応用実習装置及び周辺機器	週19時間(年間175日) 授業(プログラミング・課題研究・ソフトウェア活用等)	令和2年3月	10,164,000
4	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	情報基礎実習装置 富士通 ESPRIMO D7010/F ほか	週22時間(年間175日) 授業(プログラミング・課題研究・ソフトウェア活用等)	令和3年10月	9,889,000
5	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	課題研究実習装置1 富士通 ESPRIMO D7010/F ほか	週21時間(年間175日) 授業(情報処理・課題研究・ネットワーク管理)	令和4年2月	8,778,000
6	03-03	その他の視覚用再生用機器	視聴覚装置一式 ソニー VPH-50QJ	週15時間(年間175日) 授業・LHR・部活動(演劇)	平成9年11月	8,557,500
7	06-04	空調冷凍機器	空調機 三菱 VD18ZP4	週21時間(夏季のみ年間60日) 授業(情報処理・課題研究・ネットワーク管理)	平成7年12月	5,407,500
8	01-11	その他の照明器具	体育館舞台照明 ナショナル N3901	年60時間(年間30日) 入学式・卒業式等学校行事	平成8年3月	5,150,000
9	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) NEC PC-VK23LAAGR	週3時間(年間105日) 授業(課題研究)	平成29年3月	5,040,900
10	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) iPad	週20時間(年間175日) 授業	平成30年3月	3,697,920
11	06-04	空調冷凍機器	空調機 三菱PCH-J112FKF-SK	週16時間(夏季のみ年間60日) 授業(音楽)	平成8年2月	3,167,250
12	03-03	プロジェクター	天吊プロジェクター 一式 EB-960W	週20時間(年間175日) 授業(普通教室)	平成31年3月	2,474,712
13	04-01	その他の一般機器	格納ベッド ニッター NT-230W改3	週25時間(年間200日) 生徒疾病時の休養	平成10年3月	2,249,100
14	10-12	陸上競技用器具	棒高跳び用マット ニシ F511	週2時間(年間100日) 部活動(陸上競技)	平成2年6月	2,032,800
15	01-13	調理器具	ガス調理機器 スチームコンベクション オープン	週10時間(年間175日) 後援会に貸付(食堂)	平成9年11月	2,004,000
16	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) iPad	週20時間(年間175日) 授業	令和3年2月	1,717,100
17	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ RX-6	週16時間(年間175日) 授業(音楽)	平成8年1月	1,560,000
18	03-03	その他の投影機	液晶プロジェクター 天井据付 スクリーン込	週3時間(年間105日) 授業(課題研究)	平成10年3月	1,474,200
19	01-13	その他の厨房器具	ブラストチラー RB10B	週10時間(年間175日) 後援会に貸付(食堂)	平成13年3月	1,443,750
20	01-13	食品食器洗浄機	食器洗浄機 JWD-6	週10時間(年間175日) 後援会に貸付(食堂)	平成8年3月	1,332,820